

「レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのデータを用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023年4月1日～2025年12月31日の間に、J-ASPECT研究*参加施設に入院及び以後通院されている方

2. 研究の目的

今回の研究では、救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中および脳神経外科及び共通のリスクを有する循環器病（急性心筋梗塞、急性心不全、大動脈解離など）治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行うことを目的とする。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日まで（予定）

4. 利用または提供の開始予定日

2021年2月4日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

生年月（日）あるいは年齢、性別、発症年月日、入院年月日、退院年月日、退院先
自宅郵便番号（研究利用前に事務局において下4桁の削除）、診療報酬算定情報（DPC）

入院経路：救急車による搬送、他院よりの紹介

入院前および入院後生活自立度(modified Rankin Scale score, mRS)、入院中死亡の有無、脳卒中・循環器病による入院

初期重症度（JCS、GCS、NIHSS、Hunt & Hess grade、ICH grade、Hunt & Kosnik grade）

入院中の看護必要度

神経学的所見

バイタル（血圧・脈拍）

検査データ（血球、生化学；腎機能、LDL-Chol、PT-INR、血糖、HbA1c）

搬送から画像撮影までの時間
搬送から組織プラスミノゲン活性化因子（rtPA、血栓溶解療法）投与までの時間
搬送から血管内治療のための穿刺までの時間
血栓回収を行った場合の再開通度（TICI grade）
rt-PA 静注療法または血管内再開通療法を施行した患者での 36 時間以内の症候性頭蓋内出血（NIHSS 4 点以上悪化）の有無
退院 90 日後 modified Rankin Scale(mRS)
画像診断、検査〔MRI、MRA、CT、脳血管造影、頸動脈超音波検査〕
リハビリテーションの有無、脳卒中・脳神経外科疾患・循環器病関連の診療にかかわる治療内容（投薬内容、開頭手術やカテーテル治療など）
退院サマリー・看護サマリー・診療情報提供書・診療記事・看護記録

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテおよびレセプトから上記情報を取得します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

国立循環器病研究センター 飯原弘二（研究代表者）
埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 大宅 宗一

4. 試料・情報の管理責任者

< 提供元機関 > 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文
< 提供先機関 > 国立循環器病研究センター 病院長 飯原弘二

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 研究責任者 大宅宗一
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981
tel/fax: 049-228-3671
受付時間 平日 10時から15時

- 研究課題名：レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査
- 研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 大宅宗一